

おびっくすNEWS

6月号

オピックスは
こんな会社です！

ブログをオープンしました！
ぜひ、遊びに来てくださいね♪

オピックス ブログ 検索



速報 ニュース速報 ニュース

✓ 読売「ハンドピース使い回し」報道に日歯「表現は不適切」

読売新聞は5月18日付朝刊で、歯科用ハンドピースについて国立感染症研究所の研究班の調査結果を基に「歯を削る機器 7 割使い回し」と報じた。日本歯科医師会は5月19日、同記事について「当該データがどのような調査によるものか学会と協力の上精査する必要がある」とした上で、『使い回し』の表現はヘッドが1回ごとに捨てる器具ではない以上、適切でない。当該記事を書いた記者と意見交換する必要がある」との見解を都道府県歯科医師会宛てに送付した。

✓ 技工士学校の26年度入学者 全国で定員の68%

全国の歯科技工士養成学校53施設の平成26年度入学者は1,262人で、定員1,860人の68%だった。定員に対する入学者数の割合は前年度73%より低下しているが、24年度67%、23年度70%と7割を前後している。全国歯科技工士教育協議会の理事長・校長・教務主任会議、総会、報告会で配布された資料によるもの。

✓ 京医科歯科大、食事・メンタルなどアスリートの知見集約し医歯学で五輪選手支援

日刊工業新聞によれば、東京医科歯科大学は「スポーツ医歯学センター（仮称）」を設置し、スタッフにトップアスリートを迎えて身体機能の管理や食事、メンタルトレーニングなどの知見を集約、選手寿命を延ばす科学的手法を確立する。

新センターはスタッフを増員、医学部、歯学部や付属病院の各部門との連携で五輪支援を前面に出し、五輪開催期間中は東京外国語大学の専門家と連携し、希少言語の国の選手がけがをした際の治療対応などスムーズな体制を整備する。

また、靱帯損傷や脳振とうの治療、早期復帰のリハビリテーションなどを手がけ、高気圧酸素治療装置でねんざや骨折の治りを早める高気圧治療部、整形外科内の運動器外科、競技時にかみしめる歯を守るマウスガードのスポーツ歯科など学内協力を強める。

✓ 歯と口の健康週間にちなみ、改めて「酸蝕歯」の問題を啓発＝キリンビバレッジ

6月4日から10日までは、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会が1958年から実施している、歯科疾患の予防や早期発見、早期治療を徹底することを国民に対して普及啓発する「歯と口の健康週間」だ。「歯のトラブル」というと、まず「虫歯」を思い浮かべるが、最近では「酸蝕歯」についても関心が高まってきた。まず「虫歯」と「酸蝕歯」の違いだが、「虫歯」の原因が口内菌が作りだすブラーク（虫垢＝しこう）による酸なのに対して、「酸蝕歯」の原因は酸性の食品そのものだ。つまり「虫歯」はブラークを作らなければ防げるのに対し「酸蝕歯」は、酸性の食品を食べている限り発生するリスクがある。酸蝕歯を防ぎ、虫歯の原因となるブラークを取り除くには「口内の中和を促す」、「唾液をよく出す」ことが大切だ。食後にアルカリ性の水などを飲む習慣をつければ、より健やかな口内環境を実現する効果を期待できそうだという。

✓ 歯周病菌が腸内細菌叢に影響

歯周病原菌が腸内細菌叢に影響を及ぼし、全身的な炎症を引き起こす。新潟大学大学院医歯薬学研究科の山崎和久教授らの研究グループがマウスを使った実験で初めて明らかにした。腸内細菌叢の変化は、肥満・糖尿病で見られる所見と類似しており、歯周病が全身に及ぼす新たなメカニズムとして注目される。

✓ アンチエイジングアワード 桂文枝師匠が受賞

日本アンチエイジング歯科学会（松尾通会長）は、心身ともに美しく健康的に年を重ねている著名人を表彰するアンチエイジングアワードに落語家の桂文枝師匠（70歳）を選んだ。

おススメ!!

新製品

ヤマザキ

ふわふわスフレ スリンクリーム



ふふふ♪とゴキゲンなおやつタイム
ふんわりとしたスフレ生地と口どけ
の良いクリームをたっぷりサンドし
ました。スチームの方で実現した、
口の中で溶けるようなしっとりふわ
ふわ食感をお楽しみいただけます。

「オプト・ワン」の機能紹介

訪問先でカルテの入力が出来たら
もっと業務が楽になるのに...

そんな医院様からのご要望にお応えすべく、
新しいオプションが登場しました!



One.Mobile を使うことにより、
訪問先でカルテの入力が出来ます。

さらに!

管理指導計画書や領収書も

すぐに印刷することができます!

その場で患者さんに計画書の内容確認と
サインをして頂くことも可能です。

